選ぶならどちら!?
外出先でも読みたい。検索や保存機能が便利！
電子版 OR 新聞紙
オフィスで気軽に紙で読みたい。みんなで回し読みも出来る！
両方でも、片方だけでも、選べます！コース詳細は「購読申し込み」ボタンをクリック！

防災学術連携体／「防災庁への期待」シンポ開く、垣根越えた連携が必要

2025年5月2日　行事　[1面]

文字サイズ　小　中　大



防災に関する６３学協会でつくる防災学術連携体（渦岡良介代表幹事、米田雅子代表幹事）は４月３０日、「防災庁への期待　災害応急対応力をどう強化するか」と題したシンポジウムをオンラインで開いた＝写真。政府が２０２６年度の設置を目指す「防災庁」について期待や課題を議論。省庁や分野の垣根を越えた連携や、強力な司令塔とコーディネートの機能を求める意見が出た。「設置するだけではだめで、基礎自治体の根本的な防災強化が必要」という指摘もあった。

冒頭、高橋謙司内閣府防災担当政策統括官は防災庁について「政府の企画立案機能の飛躍的向上と“本気の事前防災”に取り組む司令塔機能を担う組織」と述べた。石破茂首相の指示で６月をめどに組織の大枠を示す考えを示した。

防災学術連携体の池内幸司副代表幹事は基調講演で、「今こそ学術界に求められる役割は大きい。多様な学問の知を結集し、実践的で説得力ある政策提言が求められる」と指摘。「学術界がどう貢献ができるのかを議論、提案していきたい」と述べた。

シンポジウムは▽応急対応の課題と対策▽地震、火山、火災、複合災害への備え▽科学技術の活用▽災害対応力強化に必要な体制▽防災の重要な視点ーの五つのセッションで各分野の専門家が登壇した。

意見交換も行った。有識者から「初動対応は自衛隊や消防だけでなく、地域建設業も重要な役割を果たす。地域建設業との平時からの連携が重要」といった意見が出た。「事前防災にも司令塔機能は必要。本気になればなるほど防災オンリーではなく『総合地域政策』になる。構想力とかじ取りを期待したい」との提案もあった。「日本の防災対応で最大の課題は基礎自治体の防災対応力の脆弱（ぜいじゃく）性」との指摘もあり、米国の防災庁に相当する連邦緊急事態管理局（ＦＥＭＡ）のように地方自治体支援を強力に進めるよう求める声も上がった。

最後に政府の防災庁設置準備アドバイザー会議で主査を務める福和伸夫名古屋大学名誉教授が総括発表し「一番大事なことは、大規模災害による国難を回避すること。『本気の事前防災』に取り組むため組織、地域、時間を超えた総力を結集することが必要だ」と締めくくった。

同一ジャンルの最新記事

復興庁／福島国際研究教育機構（福島県浪江町）が起工、本部施設は２８年度完成へ　2025年4月30日　[1面]
大阪ＩＲ／３０年開業へ大規模計画が始動、夢洲を国際観光拠点に　2025年4月25日　[8面]
大成建設／東京・新宿駅西口広場で４月２２～２５日に設計作品展、建築設計の魅力発信　2025年4月16日　[3面]
大阪・関西万博／大屋根リングのデザインは藤本壮介氏、世界が一つにまとまる象徴に　2025年4月11日　[8面]
政投銀、日建設計ら／ゼノベ初弾の日建ビル１号館を公開、築古ビルを脱炭素化　2025年4月10日　[10面]



お知らせ

25年度発注予定データを公開しました
会社概要を更新しました
本社事務所移転のお知らせ
日刊建設工業新聞社 社長交代のお知らせ

建設産業界プレスリリース PR TIMES

建設工業新聞の書籍



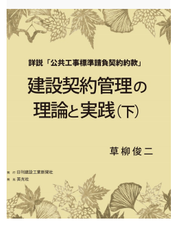
夢のつなげ方 建築から学ぶこと III

詳しく見る



建築家はいま何を考えているか

詳しく見る



詳説「公共工事標準請負契約約款」建設契約管理の理論と実践（下）



建設産業界プレスリリース PR TIMES

Copyright(C)The Nikkan Kensetsu Kogyo Shinbun. All rights reserved or republication without written permission.